大阪労連女性部ニュース　NO. 2

憲法を生かして、ジェンダー平等を！
原発ゼロで安全な日本を！
2012年10月31日
発行　〒530-0034　大阪市北区錦町2-2国労会館1F

2012おおさか女性行進

～さよなら原発！なくしたい貧困・格差　平和を守る憲法にＹＥ～

　１０月２７日（土）２０１２おおさか女性行進には２００名が参加し、秋晴れのぽかぽか陽気のなかピエロの着ぐるみや華やかなプラカード・横断幕を掲げ元気に御堂筋をパレードしました。

　ミニ集会では、新婦人大阪府本部の川本さんから経過報告が行われ、呼びかけ人の石田法子弁護士やいくの学園の渡辺和恵さんらが**「橋下市長の女性蔑視や慰安婦問題発言など許せないことが続いているが、女性のパワーで世の中を変えましょう」**とあいさつされました。また、呼びかけ人からのメッセージでは、東日本復興支援団体EastJapanRE:projectを立ち上げ代表を務める佐々木唯さんから『**女性行進に参加の皆さま　日本の明るい未来への行動、本当にありがとうございます！原発問題、政治経済、憲法９条の窮地、本当にめまぐるしい事が起きるなかで、私たちが声を大にして平和を訴えていきましょう！私はダンスを通した復興支援チャリテイを始めて自分は微力だけど無力じゃない、集まれば馬力になるんだと痛感しました。いつの時代も女性は計り知れないパワーを持っています。私たちの馬力で日本をひっぱっていきましょう！！**』と力強いメッセージを送ってくれました。その他竹信三恵子さんら６名の方々から勇気をもらうメッセージを頂いきました。

　参加した団体のアピールタイムでは、それぞれが創意工夫した華やかなプラカードや横断幕・鳴り物や着ぐるみで元気にパフォーマンスを披露しあいました。

　御堂筋をなんばにむけての恒例のパレードは、アンパンマーチに足取りも軽く元気に歩きました。沿道からは子どもが手を振ってくれたり、『一歩でも二歩でも一緒に歩きましょう』の声に応えてくれる若者がいたり、写メを撮ったりと共感をしてくれる沿道の声に“嬉し楽しい”女性行進でした。

原発ゼロで　ええやんか～
自然エネルギー転換で　ええやんか～

年金引き下げ　やめてんか～

子育て支援充実、老後も安心な
大阪が　　ええやんか～

「私は言い～たい」
詰め込み保育は、
やめて下さい！
子どもたちを
放射能から
守りましょう！

最低賃金 1000 円を実現しよう！
貧困・格差なくして安心できる
生活が　ええやんか～
橋下さん大阪つぶすの　やめてんか～

消費税増税　やめてんか～
どの子も平等に教育が受けれる
大阪が　ええやんか～

『　いっしょに変えよ！　女性が元気な大阪に！』女性のつどいに参加

１０月２６日（金）明るい会女性連絡会主催の女性のつどいが行われました。大阪労連女性部も参加を呼びかけ、全体で９０人の参加でした。ウイメンズカウンセリング京都・井上摩耶子さんの講演でジェンダーの視点で大阪を問うをテーマに橋下市政が打つ出した施策は、福祉の切り捨て男女共同参画センタークレオの廃館など女性のための施策が次々と壊されていっている。クレオは女性のためのＤＶ相談やカウンセラーが受けられる施設なのに橋下市長は女性をよりいっそう生きにくくしているなど話されました。またリレートークのなかで、保育園に子供を預け原因不明で亡くされた母親が、「今でも保育の現場では子供に目が行き届かない状況のあるなかで、橋下さんは今以上に保育施設の悪化を招くことをしようとしている。絶対に許せません。これ以上子どもを亡くす母親がでないよう裁判を起こしました。」訴えられました。このつどいで改めてジェンダーの視点・男女平等参画の視点にたった運動を作り上げなければと思いました。